

## I 決算概況

(1) 平成 22 年度一般会計の決算内容についてみると、歳入決算額は 3 兆 9,168 億円で、前年度に比べ、景気の悪化による法人二税等府税収入が減少したものの、繰入金が増加したことにより、7,108 億円、率にして 22.17% 増加している。

(2) 一方、歳出決算額は 3 兆 8,847 億円で、前年度に比べ、期末勤勉手当の支給率の引下げや人員の新陳代謝効果、国直轄事業の減等により人件費、投資的経費が減少したものの、社会保障事業費の増や私立高校生授業料支援補助金等により補助費が増加したこと等により、7,193 億円、率にして 22.72% 増加している。

(3) 形式収支は、322 億円の黒字を計上し、5 年連続の黒字となった。形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も、257 億の黒字となったものの、前年度に比べ、54 億円減少している。

(4) 一般会計と特別会計（Ⅱ 3 特別会計参照）の額を合算したのから地方公営企業会計に係る収支を除いた普通会計ベースでの実質収支は、274 億円となっており、前年度に引き続き赤字を回避している。財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、国庫支出金、地方交付税の増加、国の経済対策や社会保障関係経費の増加等により、前年度より 5.6 ポイント改善し、91.3% となった。

平成21年度及び平成22年度一般会計決算

(単位:億円)

		22年度	21年度	差引	
予 算 現 額		39,364	32,281	7,083	
歳 入 決 算 額 A		39,168	32,060	7,108	
主	府 税	10,657	10,946	△ 289	
	法 人 二 税	2,629	2,944	△ 315	
	地 方 消 費 税	2,752	2,421	331	
な	地 方 譲 与 税	1,072	508	564	
	地 方 特 例 交 付 金	110	153	△ 43	
	地 方 交 付 税	2,995	2,912	83	
	国 庫 支 出 金	2,868	3,891	△ 1,023	
科	繰 入 金	7,523	417	7,106	
	諸 収 入	7,107	6,687	420	
	府 債	4,044	3,618	426	
目					
歳 出 決 算 額 B		38,847	31,654	7,193	
主	義 務 的 経 費	11,741	11,489	252	
	な	人 件 費	8,210	8,286	△ 76
		公 債 費	3,102	2,790	312
		扶 助 費	429	414	15
科	投 資 的 経 費	2,067	2,303	△ 236	
	目	そ の 他 経 費	25,038	17,862	7,176
		補 助 費 等	15,779	8,863	6,916
		貸 付 金	6,745	6,284	461
形式収支 C=A-B		322	406	△ 84	
翌年度繰越財源 D		65	95	△ 31	
実 質 収 支 C-D		257	311	△ 54	

注：形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

実質収支＝形式収支－翌年度繰越財源（翌年度繰越額から未収入特定財源を差し引いたもの）